



日本学生支援機構貸与奨学金 大学院在学採用の申込みについて

大学院学生を対象とした日本学生支援機構奨学金の貸与を希望する方は、下記の手順により申込みしてください。申込みの際は、期間内にインターネット上でフォームの入力を行い、必要書類を提出する必要があります。
[『奨学金を希望する皆さんへ\(貸与奨学金案内\)』\(冊子\)](#)及び[申請要領\(本紙\)](#)をよく読んで申請してください。申請が不完全な場合、推薦を受けられません。また、提出先はキャンパスにより異なりますのでご注意ください。

1. 奨学金の種類及び貸与月額等について

課程	貸与月額 (第一種【無利子】)	貸与月額 (第二種【有利子】)	貸与始期	収入基準額 (第一種)	収入基準額 (第二種)	収入基準額 (併用)
修士	5万円、8.8万円 から選択	5万円、8万円、 10万円、13万円、 15万円 から選択	2024年4月 (※)第二種は 2024年4月～ 9月の希望月	299万円以下	536万円以下	284万円以下
博士	8万円、12.2万円 から選択			340万円以下	718万円以下	299万円以下

2. 申込期間等 (① → ②、③の順にお手続きください。②、③は順不同)

※全ての手続を完了しなければ推薦されません。それぞれ締切が異なるので注意してください

申込期間	①本学 Web フォーム 入力期間	2024年4月1日(月)～4月15日(月)【厳守】 入力後に届く自動返信メール(受付票)を印刷し、他の書類とあわせて提出してください。 ※申請フォームは4月1日9時から入力可能です。 https://www.t2form.titech.ac.jp/sv/518271?lang=ja 【注意】本申請用と異なるフォームに入力した場合は無効です!
	②スカラネット入力期間 ※期間経過後入力無効	①の手続完了日～2024年4月16日(火)【厳守】 ①の入力完了後に自動返信メールでURL、PW等をお知らせします ※必ず本学 Web ページ掲載の『スカラネット入力例』を確認してください ※③の書類提出を後で行う場合、確認書兼同意書は「提出しました」を選択し、入力を先に進め完了してください ※収入に関する部分は③で提出する収入計算書と揃えてください
	③書類受付期間	<窓口へ直接提出> ①の手続完了日～2024年4月17日(水)17:00【厳守】 <郵送による提出> ①の手続完了日～2024年4月17日(水)17:00【必着】料金不足無効
<p>※申請期間を過ぎた入力(提出)は一切受け付けられませんのでご注意ください。 ※郵送の場合、封筒に「JASSO 大学院貸与奨学金 申請書類在中」と朱書きし、差出人名及び学籍番号を明記の上、送付してください。 ※書類の受付連絡は行っておりません。レターパックライト等、追跡可能な方法で発送してください。 書類が届かなかった等の配達事故等については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。</p>		
書類提出先	<p><書類提出先> 研究室・指導教員が大岡山又は田町キャンパスの方 大岡山キャンパス : 〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1-TP102 東京工業大学 学務部学生支援課経済支援グループ (Taki Plaza1 階) 研究室・指導教員がすずかけ台キャンパスの方 すずかけ台キャンパス : 〒226-8501 神奈川県横浜市緑区長津田町 4259-J1-1 東京工業大学 学務部学生支援課すずかけ台学生支援グループ (J1 棟 1 階)</p>	
問合せ先	<p>「奨学金事務担当窓口」 ページ下部の問い合わせフォームからお尋ねください。 奨学金制度や手続きに関する一般的な照会は「JASSO 奨学金相談センター」 0570-666-301 (平日 9:00～20:00) にお問い合わせください。 ※繋がりがづらい場合は「奨学金相談サイト」や「奨学金チャットボット」をご利用ください。 ☆「奨学金を希望する皆さんへ(動画)」 必要な書類や手続等の説明が動画でご覧いただけます ☆「奨学金貸与・返還シミュレーション」 貸与の総額や将来の返還額を試算できます。 ☆「学費・奨学金」 東工大の奨学金関連のウェブページ</p>	

3. 入学時特別増額貸与奨学金について

※詳細は『貸与奨学金案内』10、26 ページ参照

新入生は、通常の月額奨学金に加えて、「入学時特別増額貸与奨学金(有利子)」(10万円～50万円の間に10万円単位で選択)に申し込むことが可能です。 ※2024年4月に大学院に進学・入学した方のみ対象です。利用できる方は次の①又は②を満たす方です。

- ① 収入計算書の収入(見込)額合計が120万円以下の方
⇒ 奨学金の初回振込時に月額とあわせて1度だけ振り込まれます。
- ② ①以外の方で日本政策金融公庫の「国の教育ローン」に事前に申込み、利用できなかった方
⇒ 奨学金申請後、対象者へ必要書類のご案内を行います。必要書類が提出され、JASSOの審査完了後に振り込まれます。

4. 「人的保証制度」、「機関保証制度」について

※詳細は『貸与奨学金案内』16～20 ページ参照

人的保証制度を選択する場合は、連帯保証人(原則、父母のどちらか)、保証人(原則、父母を除く四親等以内で奨学生採用後の手続き時に65歳未満の人)を選ぶ必要があります。

奨学生採用後、返還誓約書の提出が必要です。これに伴い連帯保証人並びに保証人の署名、実印の押印及び印鑑登録証明書(返還誓約書に印字される日付から3か月前以降に発行のもの)の提出が必要となります。

事前に承諾を得られない場合は、人的保証を選択できません(保証人を立てられない場合は機関保証を選択してください)。

5. 特に優れた業績による返還免除制度について

※詳細は『貸与奨学金案内』12 ページ参照

大学院において第一種奨学金の貸与を受ける学生を対象とした制度です。

採用後ご案内又は本学 Web ページ「返還について」内の「特に優れた業績による返還免除」をご覧ください。

※2023年度以降新たに、大学院博士課程において第一種奨学生として採用された人で、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」又は「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の支援を受けた人は、日本学生支援機構の「特に優れた業績による返還免除制度」の対象外となります。

6. 提出書類

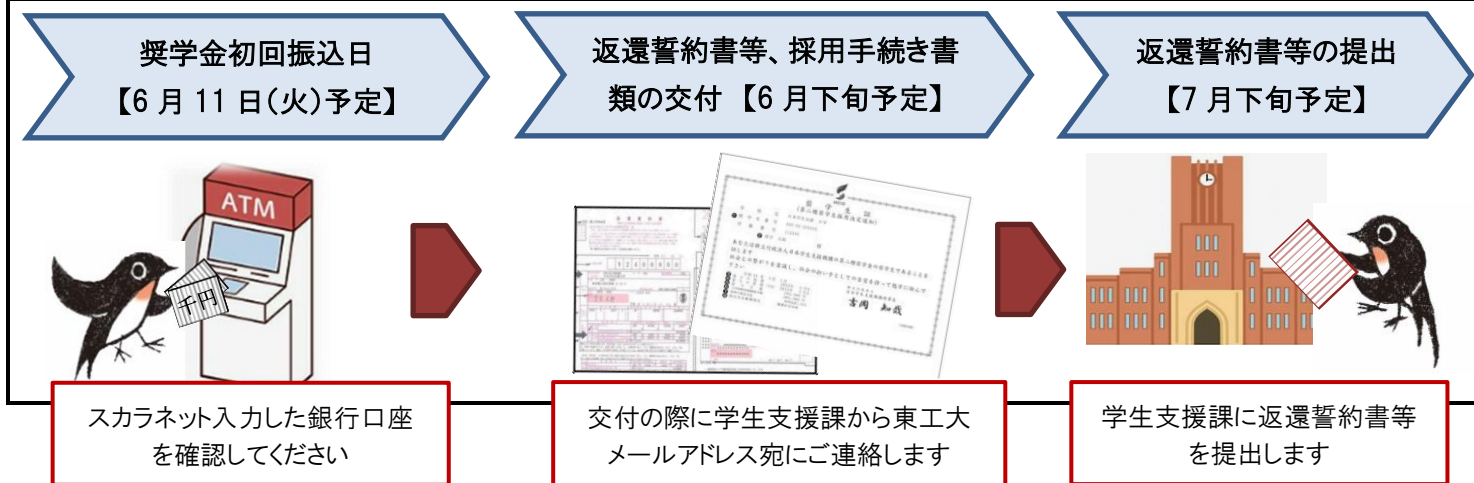
※赤字の様式は、本学 Web ページからダウンロードし、作成してください。

⇒ 【大学院・在学採用】貸与奨学金申請要領・配付様式

全員提出	1	本学 Web フォームからの自動返信メール(受付票)	A4 縦で1枚に収まらない場合は A4 長辺綴じの両面印刷とすること 大学院在学採用のフォーム(本紙1ページ URL 記載)と異なるもの場合は無効
	2	確認書兼個人情報取扱いに関する同意書	3～4 ページ目を、A4 長辺綴じの両面印刷で作成すること 他のページは提出しないこと。住所欄は現住所を記入してください。
	3	収入計算書	A4 長辺綴じの両面印刷で作成すること 【前年用】と【本年用】の2枚を提出 ※2023年1月以降中途就職、転・退職がない場合及び本年の収入見込みに前年から大きな変動がない場合、【本年用】は、「本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動はありません。」に○を付けて提出してください。
	4	収入に関する証明書 (収入計算書に記載した各項目の金額を証明するもの)	必要な収入証明書類については『貸与奨学金案内』27～30 ページを参照し、収入計算書に記載した収入項目に対応する収入証明書類を添付してください。
	5	指導教員推薦所見	・申請者本人が直接指導教員に依頼してください(署名必須(押印は不要))。 ・先生から提出先に直接送付されても差支えありません。ただし、その調整は申請者本人が行い、先生から送付する旨、提出先にメールしてください。 ・週21時間以上のアルバイト等をする場合、研究に支障のない旨を必ず明記してもらってください。
	6	学業成績証明書 ※コピー可	修士1年 … 学部最終時のもの(高専専攻科修了者は本科と専攻科の分) 博士1年 … 修士最終時のもの 修士2年、博士2年以上…前年度後期までのもの ※編入の場合は編入前学校のものも併せてご提出ください ※東工大発行となる成績証明書は提出を省略できます
該当者のみ	7	1) 入学時特別増額貸与奨学金を希望する方で、「収入計算書」の「収入見込額合計」が120万円を超える場合は、必ず事前に日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申請の上、窓口へ申し出てください。 2) 「地方創成枠」として推薦された方は決定通知をご提出ください。 3) 申込資格のある 外国籍の方 は在留カードのコピー等が必要です。※奨学金案内7ページ参照 4) 継続願未提出等で廃止を受けた学生が再度申請する場合は 反省文 を全て自署にて提出してください	

※油性ボールペン(黒又は青)で記入すること。消せるボールペンで記入した場合は選考対象外となる場合があります。

7. 結果通知～採用まで ※詳細は『貸与奨学金案内』33-35 ページ参照

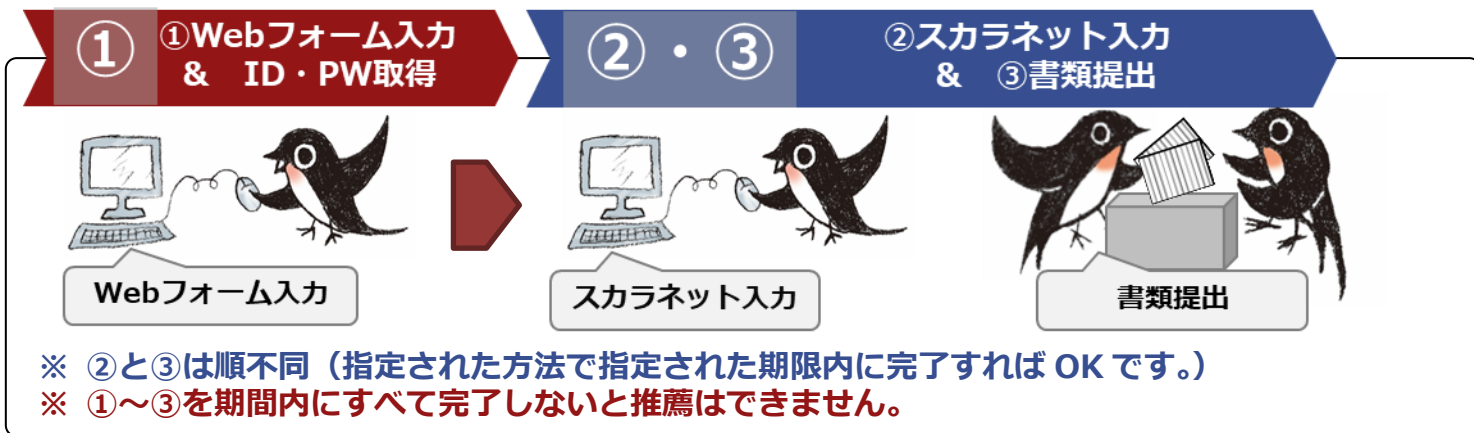


※ 申請不備等によっては初回振込、結果通知等が後ろ倒しとなります。

※ 学生支援課からの連絡は、東工大の共通メールシステムのアドレス(ドメインが m.titech.ac.jp のもの)に送りますので、必ず確認してください。

申請要領 大まかな解説 (詳しくは申請要領(本紙)と貸与奨学金案内を熟読してください!)

申請方法



③の提出書類について



① Web フォームからの返信メールを印刷したもの

② 確認書兼個人情報情報の取り扱いに関する同意書

収入

③ 収入計算書

④ 収入に関する証明書

学業

⑤ 指導教員推薦所見

⑥ 学業成績証明書

⑦ その他(該当者のみ)

①が完了しているか確認のため

貸与を受けるために重要な書類

記入例をよく見て作成(スカラネット入力内容とも関連)

- 収入計算書に書いた金額を証明するための書類
- 結婚している方で、配偶者が定職についている場合は配偶者の分の証明書も必要
- 父母等の給付額の証明は、収入計算書裏面の証明欄を使用してください(父母等の自署必要。原本必要。)

ここは申請要領を確認してください

収入計算書に書く収入額

家庭の収入で審査される学士課程の学生と違い、大学院課程の学生は「自身の収入」で審査されます。

(※) 父母等からの仕送りや授業料等の支払いも「収入」としてカウントされます。

(※) 「自宅通学だから生活費はかかってない」と思っているも、実際にはそれは誰かが支払ってくれているものです。ここではそれらは全て「父母等からの給付額」に含まれます。

自宅通学の場合の生活費（食費・住居費・光熱費等）は、世帯全体の年間経費を家族数で割ったものを、父母等から本人への年間給付額とみなしてください。

収入はこのようなものが該当計上した各項目について証明書類の提出が必要です！



「父母等から払ってもらっている授業料・家賃・光熱費」も「父母等からの仕送り」もすべて「父母等からの給付額」としてカウントします！

収入額にカウントするもの

(他にもあります。詳しくは収入計算書と奨学金案内を熟読してください)

父母等からの給付額

父母等から支払ってもらっている授業料・家賃・光熱費

父母等からの仕送り

自分のアルバイト代（定職についている場合はその収入）

結婚している方は配偶者の収入（定職に就いている場合）

既に獲得している奨学金

預貯金からの取崩し

※ 収入計算書表面と裏面の父母等からの給付額にズレがないよう作成時にご注意ください。

※ 収入計算書裏面「★父母等からの給付額について」の給付者氏名は必ず父母等（給付者）が自署してください（コピー不可）。

収入計算書の内容を証明する書類

収入計算書の記載内容が正しいかチェックします！



収入計算書に計上した各項目について、金額を証明する書類が必要です。

ポイントは「いつからいつまで、どんな額の収入を得ていたかがわかるもの」です。

ケースバイケースの指定が細かいので詳細は貸与奨学金案内や記入例を熟読してください。

例えば、「途中で退職したから昨年はアルバイト代の収入あったけど今年はアルバイト代がゼロ」の場合は、「昨年のアルバイト代の証明書類」の他に「退職したことがわかる書類」も必要になります（退職のタイミングによっては昨年分の源泉徴収票に退職日が書かれている場合もあります。その場合は源泉徴収票の提出のみで差し支えません）。

また、昨年の収入で学士課程の JASSO 給付奨学金を計上する場合、各期間の金額がわかるようスカラネットパーソナルのコピーを証明書類として提出してください。

（期間によって金額が異なる場合、奨学生証のみだと金額の算出ができません。）

申請要領 大まかな解説（続き） （詳しくは申請要領と奨学金案内を熟読してください！）

アルバイト収入が「前年額」と「本年額」が変わる見込みのある場合の「本年分の証明書類」について

年末までの「見込み額」はどう証明する？
職場からも見込み額の証明書を出してもらえない場合は？



収入計算書記入例に書いてあるとおり、
直近までの収入額を示す書類を提出し、計算書裏側に推算を記入してください。
詳しい書き方については「計算書記入例」をご覧ください。



人的保証/機関保証について

申請時に選択した保証制度は原則変更できません。

人的保証を選ぶ場合は特に注意が必要です。

選任条件に合った連帯保証人と保証人を選ぶ必要があり、奨学生採用後にはその方の署名・実印の押印・印鑑登録証明書の提出が必要です。人的保証を選択する場合、このことを連帯保証人・保証人になってもらう方に必ず確認しましょう。

機関保証は保証機関（協会）に保証料を支払い、保証を依頼する制度です。機関保証制度を選択した場合は「本人以外の連絡先」の登録は必要ですが、保証人を立てる必要はありません。

人的保証を選択する場合、必ず連帯保証人・保証人の条件を確認し、本人に承諾を得ましょう。
承諾を得ていなかったり、条件に合致しない保証人を選定すると、別の方を選定し直しとなります。条件に合う方が見つからない場合は、採用後に必要な書類が揃わないことで「採用取消」になります…。



機関保証を選べば、奨学金から保証料は引かれるものの、保証人を立てる必要はありません。
採用後の手続きは機関保証を選んだ場合の方が必要書類は少ないです。